

MAKE UP



1 新しい白粉の発明
先に新絵の具を発明して特許を受け日本画西洋画両方面から世界的発明と激賞されている津端隆画伯は、新絵の具の製法と同じ方法を以って、真に無鉛の衛生的白粉をも作る事に成功したので、その方の専売特許を得る為に昨年来特許局に出願をしていたが、既に出版願公告も済み近く特許が降りることに内定しているそう。今度の新白粉は従来の白粉と違い絶対に鉛分を含まず、それでいてのびもよく、のりもよく、汗をかいてもくずれない。着物の襟なども汚れず、………坪内先生の如きも「鉛毒の恐れがないから俳優にとっても理想的だ」と非常に推賞している(略) 化粧風景「御園のおもかげ」より

2 ACCESSORIES

二人の車のうしろに二、三台とまり、左右を流れる車がつづいた。うしろにつかえた車がバックすると、その明りが二人の車にさしこんだ。波子の胸の宝石がきらめいた。

波子は黒いスワツの左の胸に、プロオチをつけていた。細長いぶどうの形で、つるは白金、葉は青いくすんだ石、それに幾粒かのダイヤの実があった。

首飾りに合わせて、真珠の耳飾りもつけていた。

しかし、耳の真珠は髪に毛に見えかくれするほどだった。首の真珠も、白いブラウスのレースの飾りで、あまり目立たなかった。レースは白と思えるが、薄く真珠色なのかもしれない。

そのレースの飾りは、胸の下の方までであったが、やわらかくいいもので、むしろ年齢の気品を添えていた。

そのレースのえりが、立てたというほど高くなく、耳の下あたりからフリルを取って、そのひだは前へ来るにつれて、円みが深まっている。細い首にやさしい波がゆらめいているようだ。

薄明りのなかで、波子の胸の宝石のきらめきも、竹原に訴えるようだった。

「見つかるって、こんなところで、だれに見つかるんです。」

川端康成「舞姫」より



COLUMN

AUCTION

先日、五回目のミルクホールオークションが行われました。

五回目とあって、慣れた表情で始まるのを待つ余裕の浪人生たち、おっと失礼、皆めでたく合格して大学生になる新入生たち、何度も登場を期待されつつ今回が二度目の双子の美少女達、遠くから出向いで下さった古くからの御客様たち、何が始まるやら不安そうな表情のミルクホールの新入り下宿人兼従業員、その他色々の顔ぶれ。

にぎやかなのが苦手の真面目いっぽうの古株下宿人兼従業員の老松君は、せせとホールの用意を済ますとカウンターの中に逃げ込みます。そうこうして恒例のマスターの掛け声で始まりました。いつもながらの元気な新入生たちの競りで品々の価格は決して安定を許しません。が、さすがに中年紳士の「今日は、特別に…」と袋から取り出した明治時代か江戸末期の物だろうという食器類には、遠慮して静かにさし控えていました。それらは、御本人のいい値より少し高く、けれど格安で、競り落とされました。

中学生の女の子を連れて来た御婦人の品々は、古いガラス器などともきれいな品々で、これは御厚意によりミルクホールで大切に保管させて頂くことになりました。

また、彼女の大きな編み上げのバスケットが現われた時には、ため息とともに居合わせた女の子達のつぶやきが聞こえ、壮烈に競り争われ最後に手にした女の子は、にっこりして恥ずかしげにその大きなバスケットをかかえました。ただ一人の中学生の女の子のバジャマ入れは、一体何に使うのか新入生仲間一人の男性が千円で競り落とし、女の子は、思わぬお小遣いに大喜びです。この様子を伺っていた新入り下宿人兼従業員も何やら二階から持ってきて、今日の為に特に用意をしていなかったのを残念そうに手持の品々で、競りを始めそれなりに収獲があったようでした。

全ての品々の新しい持主が決まり、かねてより予定されていた「斉藤泉の映画試写会」がこの日の余興に始まり、唐突な映画試写会の始まりに暗くセットされたBARで、最初は戸惑っていた人たちもこの短編映画に見入っていました。ミルクホールでアルバイトをし、夜は大学に通っている斉藤さんの監督自主制作映画はなかなかのものでした。三年前、制作した映画がそうで上映にあたり本人とも緊張したそうです。

次のオークションは、6月に行われます。次回の御参加をお待ちしています。

高校時代の担任であったT先生が亡くなられたのは、学校を卒業して三年目のゴールデンウィーク最初の日だったと思う。

お通夜の夜、例によって私は友達との約束に一時も遅刻し、私達四人がクラス全員の集合場所の駅改札に着いた時には委員の二人が残っていてくれたのみであった。「全く、あんたのお陰で取かいたわヨ」「ゴメン ゴメン」などと言いながら私達は矢印と黒い服の人達を頼りに歩きはじめ、遂にそれらしき黒と白の花輪の飾りのある家にたどりついた。あれ、先生の家、マンションだったっけ? などと思いつつ黙礼をして靴を脱ぐ。気がつくとな私の前でお焼香をしているF子が必死に笑いを堪えている様子だ。少し腹がたつた。仮にも恩師のお通夜の席である。そのうち私とMに順番がきた。『先生、どうか安らかに』と手を合わせ黙とうのあと顔を上げた。その瞬間、私が見たのは会ったこともないおぼあさんのうすうすと微笑みを浮かべたモノクロ写真であった。隣で「違うよ、違うよ」と耳打ちをするMを無視して何気ない素振りでお焼香を出した私達を待ち受けていたのは、「御苦労さまでございます。ささやかですが、二階にお席をもうけてありますので」という御丁寧なお誘いであった。

「いえ、とんでもない」「いえ、どうぞ」「いえ、本当に」「では、これだけでも」と手渡されたのは、お塩とお酒の入った紙袋。

私達は、紙袋を手にすると思散にその家をあとし、もう大丈夫という所まできて考えてみると、その家には『S家』とでいたのだが、その時はT先生は婿養子と聞いていたので、たいてい気には止めなかったのだ。その後私達は先生の本当の家を捜し当て、近くの植え込みに紙袋を隠し、玄関先であらためてお焼香をすませた。

ちなみに喪服を持っていない私とその日来ていったのは、次の日の祖父の米寿の祝いに着るために用意した新調のツーピースであった。

今思えば、「こんな学校、辞めてやる」と言いながらもとうとう三年間リタイアせずに無事卒業出来たのは、一年から三年までずっとT先生が担任だったからこそじゃないかという気がする。

そんな訳で毎年ゴールデンウィークが近づくと私は、あの珍事と共に呑兵衛で絵の好きだったT先生の顔を思い出してしまうのである。

Fin.

MILK HALL NEWS

4月15日より、ミルクホール春の市をオープン致します。ミルクホール隣、元フルハウスにて、当店所有の骨董品、和食器、その他、アメリカなどの西洋古道具、一部ケニア、エジプトなどのアフリカの品も有ります。お値段等は、マスターとの交渉次第です。是非、見いらして下さい。



DARTS

MILK HALL DARTS LEAGUE

ミルクホール主催ダーツリーグを行います。一試合に、シングルス戦とダブルス戦の対戦が有りますので、二人以上ならチームエントリーする事が出来ます。全チームと総当たり二週ります。申込みは4月末日まで、期間は約二ヶ月です。試合日は、相手チームとの都合のつく火曜日から金曜日まで(のびやかで、ミルクホールBAR ROOMにて行います。一日に三試合まで可能です。リーグ終了後、表彰式を行い、優勝チームから三位入賞チームまで、賞品と表彰状が贈られます。リーグセクレタリーは、ミルクホールマスターの磯見氏が務めます。セクレタリーの判断で、個人賞やその他の記録に賞が贈られる場合も有ります。

チームエントリー 二名~四名くらい
参加費 2000円(1チーム)
詳しくは、ミルクホールカウンターまで



OPEN!

横浜上大岡に、ガーニーズコレクションのデザイン設計による Pool Bar "Triangle Blue" がオープン致しました。ビリヤード10台、ダーツボード4台がセッティングされ、Barでは、数種類のカクテルが楽しめる広々としたお店です。

ビリヤードのコーナーには、正式試合に使われるスヌーカーがあり、又神奈川ダーツリーグのオフィシャルベンチでもあります。スタッフの方たちには、射撃クラブの選手の方が多いと聞いていますが、改装工事中、工事期間も短く一時はオープンに間に合わないのではないかとあやぶまれたのですが、スタッフの方たちの協力体制と強靱な精神力に驚かされ、無事オープンにごぎつる事が出来ました。私達も仕事にかこつけて、遊びに行ったりするのを楽しみにしています。もしかすると4つ玉のコーナーで私達を見かけるかもしれません一度ビリヤードとダーツとお酒を楽しみに出掛けてみて下さい。

場所など詳しく知りたい方は、ミルクホールカウンターまで